

錦江町成人式

竹下 元気 (京町自治会)

今日こうして地元の仲間たちと成人式を迎えられることを嬉しく思うと共に久々の再会に気持ちが高ぶるばかりです。

中学校を卒業して以来、それぞれの夢に向かって日々努力し精進してきました。まだまだ途中ではありますが、これまでの経験を通して少しは成長出来たと思います。この成長をいつもそばで温かく支えてくれた両親、関わってくださった全ての皆様に感謝いたします。本当にありがとうございます。少しづつではありますが、成長していく未熟な私たちをこれからも見守ってください。

すでに社会人として仕事に精を出す人、学生として勉学に励んでいる人様々だと思います。私自身、現在福岡県北九州市にある新日鐵住友八幡製鐵所に勤務し、日々技能のレベルアップに励んでおりますが、やはり一社会人として仕事をするのは簡単なことではありません。私としては仕事の難しさや人間関係など様々な困難があります。

私も何度も壁にぶつかっていますが、その時、思い浮かぶのは地元や両親、仲間たちのことです。錦江湾に沈むあの素晴らしい夕陽をみて心が和む気持ち、少しでも立派な姿を両親に見せたいという気持ち、どんなに些細なことでもすぐに相談し、一緒に考えてくれる仲間たち、これらのことを考えているとこんなことで負けていけないという気持ちになり這いあがれます。単純かもしれませんが、こういった気持ちや仲間とのつながりというのはこれから先もとても大切なことだと私は思います。この良き仲間たちと支え合ってこれから先の困難に立ち向かっていきましょう。

最後になりますが、成人として晴れの門出を迎えた今、大人としての自覚を持ち、責任ある社会人として歩んで行く決意をここに誓います。当たり前前を当たり前と思わず何事にも感謝の気持ちを忘れず努力していきますのでこれからもよろしくお願ひします。



川前 佑介 (東大原自治会)

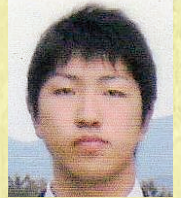
中学校を卒業し、それぞれの道を行ってきた仲間たちと、今日このように成人式を迎えられたことを大変嬉しく思います。これも家族をはじめとして、友人、先生方など、私たちを支えてくださった全ての方々のおかげです。

私は現在、福岡で大学生活を送っています。教育学部に在籍しており、学校教育だけでなく、社会教育や、教育と関連させたまちづくりなど、様々なことを大学で学んでおり、教育が社会の中で果たす役割の重要性を改めて実感しています。将来のことは、まだ決めかねていますが、ぜひ鹿児島に戻って、鹿児島の教育に貢献できる仕事をしたいと思っています。

私は、高校を卒業するまでの18年間、この錦江町で過ごしました。幼いころから、川や山に遊びに行ったり、夏には田んぼで稲刈りをしたりと、豊かな自然がいっぱいのこの町が私は大好きです。また、私は、福岡に住み始めてからも、ふるさとの大原地区の運動会には毎年参加しています。そこへ行くと、まだ私が小さかった時から親しくして下さった地元の方々とお話することができ、ふるさとの人々の温かさを感じます。私は、この恵まれた自然と人の温かさに包まれた町で育つことができ、本当に良かったと思っています。

私たちが生きるこれからの時代は、震災からの復興、原発の問題、少子化問題など、数多くの問題を抱えています。成人式を迎えた私たちは、一人の大人としてこれらの問題を真剣に考え、次の世代のためにも責任ある行動をしていかなければなりません。

これからは、この錦江町で生まれ育ったという誇りと、感謝の気持ちを忘れずに、社会に貢献できる大人になれるように努力していきたいと思っています。



上蘭 志歩 (神川新町自治会)

私は3歳の時に引っ越してから、高校卒業までの15年間を神川地区で過ごしてきました。学校生活は先生方にも恵まれ、みんなとふざけ合いながら楽しい毎日を過ごすことができました。15年間を神川地区で過ごせたこと、今でも事あるごとに集まる仲のいい友達に会えたことを、誇りに思っています。

私は現在、鹿児島大学の保健学科に在籍し、看護師・助産師を目指して勉強しています。大学での様々な勉強を通し、命について考えることが多くなりました。私が今ここに存在できているのも、まだおなかの中にいる時から私を守り健康な体で大きな病気が怪我もなく育てて頂いた両親のおかげであり、決して両親に頂いたこの健康な体が当たり前なことではないのだと改めて気づくことができました。

きっと両親は私のために自分のための多くのことを犠牲にしてくれたと思います。朝早くからお弁当を作り家事をほとんど一人でこなす母。高校のときは時間がない中、送り迎えをしてくれ家族の為に仕事をがんばる父。この2人の支えがあったからこそ私は、ここまでくることができました。両親にもらい、育ててもらったこの命を大切に、1日1日を全力で生きていこうと思います。

今日無事に成人の日を迎えることができたのも、両親をはじめ様々な人たちの支えがあったからだと思います。幼い頃は喧嘩ばかりしていましたが、今ではいい相談相手であるお姉ちゃん、共に笑い共に泣き多くの思い出をくれた友人たち、時には厳しく時には優しく私を教え導いてくださった先生方、親しくつき合ってくれた親族や地域の方々のおかげだと感謝しています。

これまでお世話になった方々へのお礼の意味も込めて、社会に貢献できる人になりたいと思っています。



安田 芽衣 (昇陽自治会)

新年明けましておめでとうございます。無事に成人式を迎えることができ、心より嬉しく思います。私がここまで成長し、成人を迎えることが出来たのも、共に歩んだ友人やいつも温かく見守ってくれた地域の方々、そして何より家族の支えがあったからだと思います。

現在私は、国立鹿屋体育大学に在籍し、体育学科武道課程を専攻しています。そこで将来体育教員になるための勉強や、私が今まで没頭してきた剣道について深く学んでいます。

私は幼い頃から剣道に没頭してきました。この剣道生活を通して、あいさつなどの礼儀はもちろんのこと、努力すること、あきらめないことで感動を味わえることが出来ること、また、いつも一緒に切磋琢磨してくれる仲間の大切さを学ぶことが出来ました。現在も、大学で剣道部に所属し、仲間と切磋琢磨し頑張っています。まだレギュラーにはなることが出来ませんが、目標を忘れては頑張ろうと思っています。また、昨年、全日本学生大会で、団体優勝をしました。私は選手ではなく応援する立場でしたが、自分のことのように大変嬉しく思い感動しました。ここまで剣道を続けることが出来たのも、今までお世話になった方々がいるからこそだと思います。特に家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

私の将来の夢は、体育教員になることです。私は幼い頃からスポーツをすることが好きでした。そのスポーツを今度は自分の手で、生徒に教えていきたいと思っています。しかし、それまでに教員免許を習得したり、教員採用試験という大きな課題を乗り越えなければなりません。気を抜くことなく勉学に励みたいと思います。

これから成人として社会に入りますが、今まで以上に自分の言動、行動に責任を持てる人間になりたいと思っています。そして、常に感謝の気持ちを忘れず、夢実現のために日々精進していきたいと思っています。

